

2021

Power Automate 入門コース



クラウドフロー編

デジタルレイバーアカデミー

2021年1月1日

<目次>

本日のアジェンダ.....	P.2
はじめに.....	P.3
モジュール1 Power Automate の概要.....	P.4
モジュール2 Power Automate – クラウドフロー ...	P.12
実習1 テンプレートを使用した自動化.....	P.14
応用問題1	
実習2 インスタントクラウドフロー.....	P.24
応用問題2	
実習3 自動化したクラウド フロー (デスクトップアプリ) ...	P.34
実習4 自動化したクラウド フロー (Web アプリ)	P.60
まとめ.....	P.76
付 録	
追加演習問題	

本日のアジェンダ

Time	Title
はじめに	コースの学習概要と学習目標について
モジュール1	Power Platform 概要およびPower Automate 概要
モジュール2	Power Automate – クラウドフロー 実習1 テンプレートを使用したクラウドフロー 実習2 インスタントクラウドフロー 実習3 自動化したクラウドフロー（1） 実習4 自動化したクラウドフロー（2）
まとめ	学習のまとめ

はじめに

学習概要：

このコースでは、Power Automateの概要を学習し、クラウドフローを使用し、業務を自動化する方法を学習します。

学習目標：

- Power Automateの概要を理解する
- 適切なテンプレートを使用し、身近な業務を自動化できる
- モバイル端末からボタン操作1つで処理を自動化できる
- 自動化したクラウドフローを使用し、業務を効率化できる。

Innovation-Leading Company

モジュール1 Power Automate 概要

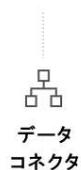
このモジュールでは、Power PlatformにおけるPower Automateの位置づけ、概要についてご紹介します。

©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.



Microsoft Power Platform

Office 365, Dynamics 365, Azure,そしてカスタムアプリを統合するローコードプラットフォーム



©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.



Power Automate 概要

Power Automate はすべてのユーザーが よりスマートに仕事できるよう、業務タスクやワークフローを自動化するサービス



エンドユーザー



経験豊富な開発者



IT / 管理者



通知を受信



ファイルをコピー



データを集計



承認プロセスを自動化

©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.



基本はこの2つを設定するだけ

きっかけ

“トリガー”と呼ばれるフローを
起動するきっかけの設定

- Office 365 Outlook - 新しいメールが届いたとき
- SharePoint - アイテムが作成または変更されたとき
- Twitter - 新しいツイートが投稿されたら
- モバイルの Flow ボタン - 手動でフローをトリガーします
- PowerApps - PowerApps

やること

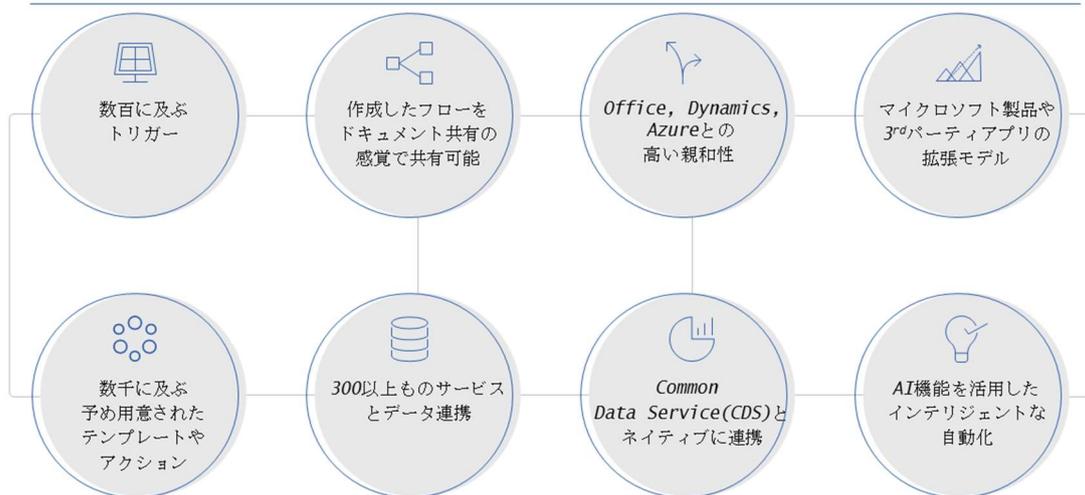
“アクション”と呼ばれる実際に
実行する動作の設定

- SharePoint - ファイルの作成
- Excel - 行の挿入
- Facebook - タイムラインに投稿する
- Gmail - メールを送信します
- Notifications - Send me a mobile notification

©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.

NISSHO ELECTRONICS

統合された唯一のプラットフォーム



©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.

NISSHO ELECTRONICS

Power Automate は自動化ソリューションの ポートフォリオを完全にカバー

RPA, DPA, AIすべてに対応するインテリジェントな自動化ソリューション



UI の自動化

デスクトップまたはブラウザ上で実行する画面操作などのアクションを、UIフローとPower Automate Desktopで自動化

ロボティック・プロセス・オートメーション
(RPA)



API による自動化

400 以上のあらかじめ用意された API コネクタを使用して、複雑なワークフローに対しても簡単に承認プロセスを作成、管理

デジタル・プロセス・オートメーション
(DPA)



AIを活用

AI Builderにより、コーディング不要であらゆるワークフローにAIを組み込み、構造化データや非構造化データをビジネスに活用

インテリジェントオートメーション
(AI)

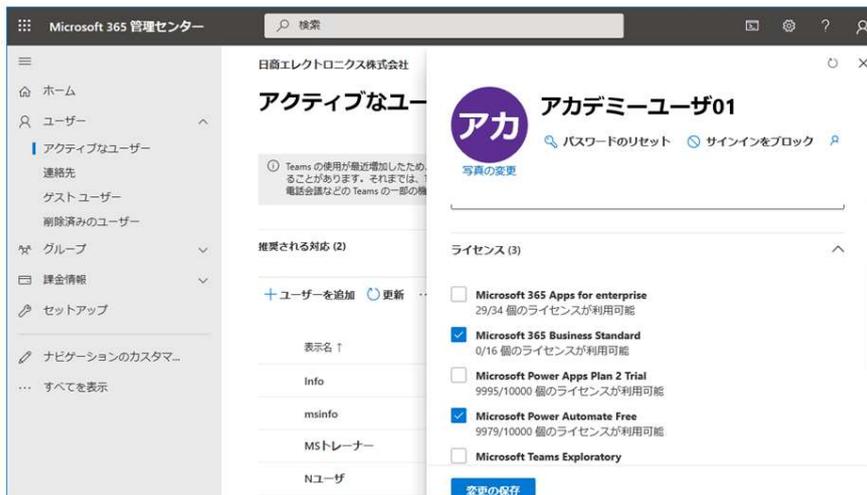
Power Automateの利用 – フローの作成者 : Power Automate 画面



©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.



Power Automateの利用 – IT管理者 : 管理センター ライセンスの割り当て



©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.



Power Automateの利用 – IT管理者：管理センター 環境内のフロー管理



©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.



Power Automateの利用 – IT管理者：管理センター DLPポリシーの設定



©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.



Power Automate 画面

The screenshot displays the Power Automate web interface. On the left is a navigation menu with options like 'ホーム', '実施項目', 'マイフロー', '作成', 'テンプレート', and 'コネクタ'. The main area shows a 'フローを作成するための3つの方法' (3 ways to create a flow) section with five cards:

- 自動化したクラウドフロー**: 指定されたイベントによってトリガーされます。 (Triggered by a specified event.)
- インスタントクラウドフロー**: 必要に応じて手動でトリガーされます。 (Triggered manually as needed.)
- スケジュール済みクラウドフロー**: 実行するタイミングと頻度を選択します。 (Select execution timing and frequency.)
- デスクトップフロー**: デスクトップ環境のプロセスを自動化します。 (Automate processes in a desktop environment.)
- ビジネスプロセスフロー**: ユーザーに推奨ステップを案内しながらプロセスを案内します。 (Guide users through a process with recommended steps.)

Callout boxes provide further details:

- 自動化したクラウドフロー**: メール受信などによりフローを開始する処理作成 (Create a process to start a flow by receiving an email, etc.)
- スケジュール済みクラウドフロー**: スケジュールされたフローを開始する処理作成 (Create a process to start a scheduled flow.)
- インスタントクラウドフロー**: ボタンを押すなどによりフローを開始する処理作成 (Create a process to start a flow by clicking a button, etc.)
- デスクトップフロー**: UIフロー機能を使ったフロー処理作成 (Create a flow process using the UI flow feature.)
- ビジネスプロセスフロー**: ビジネスプロセスを使ったフロー処理 (Flow process using a business process.)

©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED. NISSHO ELECTRONICS

クラウドフロー作成画面 - トリガーとアクション

The screenshot shows a specific flow configuration in the Power Automate interface. The trigger is 'On new email' with the folder set to 'Inbox'. Below it is an action 'Apply to each Attachment on the email' which contains a '添付ファイル' (Attachment) action. A red box highlights the trigger and the 'Apply to each Attachment' action, while a blue box highlights the '添付ファイル' action.

トリガー:
フローを開始するときのイベント

アクション:
フロー内の動作

ファイルの操作や、メール配信、アプリ操作など様々なアクションがあります。繰り返し処理や条件分岐などのアクションもあります。

©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED. NISSHO ELECTRONICS

作成したクラウドフローの詳細画面

フローの編集
作成されたフロー（トリガー、アクション）を確認、編集

フロー名編集
フローの名前編集

所有者編集
フロー所有者の追加、変更

実行履歴
フローの履歴や成功/失敗を確認

開始	時間	状況
6月29日 10:39 (3週間前)	00:00:01	成功

©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.

実行履歴画面

アクション完了

エラーアクション

未実行アクション

エラー詳細
エラーになった理由
例) ブックが読み取り専用のため。

エラーの詳細
この要求は Graph API によって禁止されています。エラーコードは 'EditModeCannotAcquireLockSiteReadOnly' です。エラーメッセージは '申し訳ございません。ブックは現在読み取り専用で保存されているため、開くことができません。' です。
clientRequestId: 353c4444-f5a8-

©NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.

Innovation-Leading Company

モジュール2

Power Automate クラウドフロー

このモジュールでは、クラウドフローを使用した自動化の方法についてご紹介します。

<メモ欄>

実習 1 テンプレートを使用した自動化

メールの添付ファイルをOneDrive for Business内のフォルダーに自動保存するフローを作成



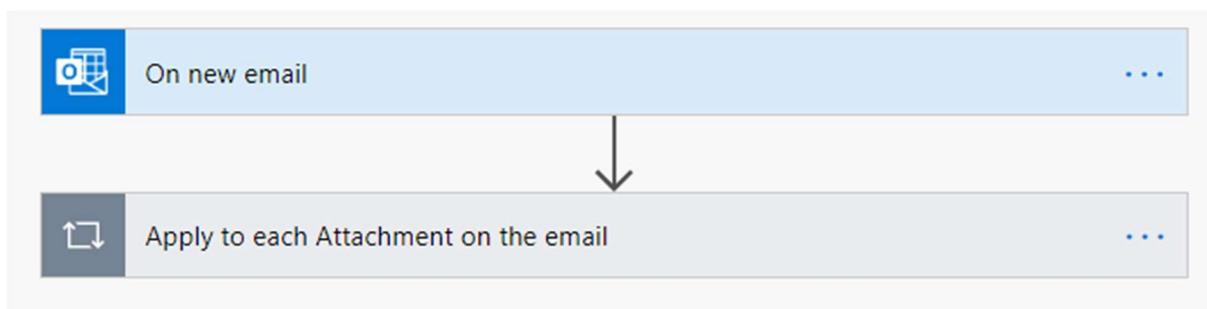
実習 1

メールの添付ファイルを OneDrive に自動保存

<概要>

自分のメールボックスに届いたメールに添付ファイルが含まれている場合、OneDrive for Business 上の指定したフォルダに自動で保存するクラウドフローの テンプレート を使用して作成します。

<簡易クラウドフロー完成図>



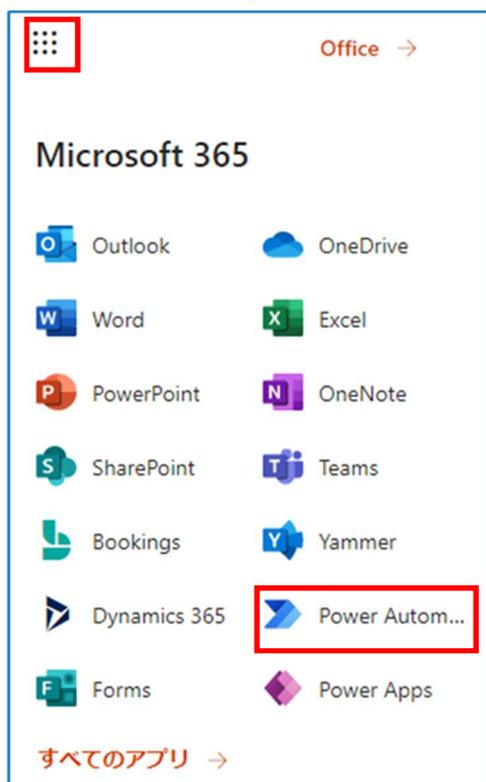
<手順>

1. **Google Chrome** を起動し、下記のサイトにアクセスし講師から指定されたメールアドレスとパスワードを使用して Office365 にサインインします。

<https://www.office.com/>



2. Office 365 のホーム画面から「**Power Automate**」アイコンをクリックし、Power Automate を起動します。



3. Power Automate 画面の左側のナビゲーションメニューから「作成」をクリックし、画面下部の「テンプレートから始める」の中にある「Office 365 のメールの添付ファイルを OneDrive for Business に保存する」テンプレートを選択します。



実習 4

承認プロセスの自動化

<概要>

SharePoint 上の「未承認」フォルダに格納された「見積書」について上司に承認を依頼します。フォルダにアップロードされると、Teams で依頼通知が表示されるとともに、上司へメールで承認／否認確認メールが送信されます。承認されると、その旨 Teams にも通知されます。さらに該当ファイルは「未承認」フォルダから「承認済」フォルダに自動で移動されます。

<事前準備>

- 「Microsoft 365 Business Standard」等の Share Point Online、Exchange Online、Teams が使えるライセンスが必要です。
- Share Point Online のサイトが作成されている必要があります。
- Share Point Online と同じ名前で Teams チームが作成されている必要があります。

<事前準備>

1. Share Point Online でチームサイトのドキュメントに「承認前」、「承認済」、「拒否」フォルダを事前に新規作成しておきます。



- Share Point Online に格納する Excel ファイル「見積書サンプル.xlsx」を用意します。
今回、ファイル内容は問いません。

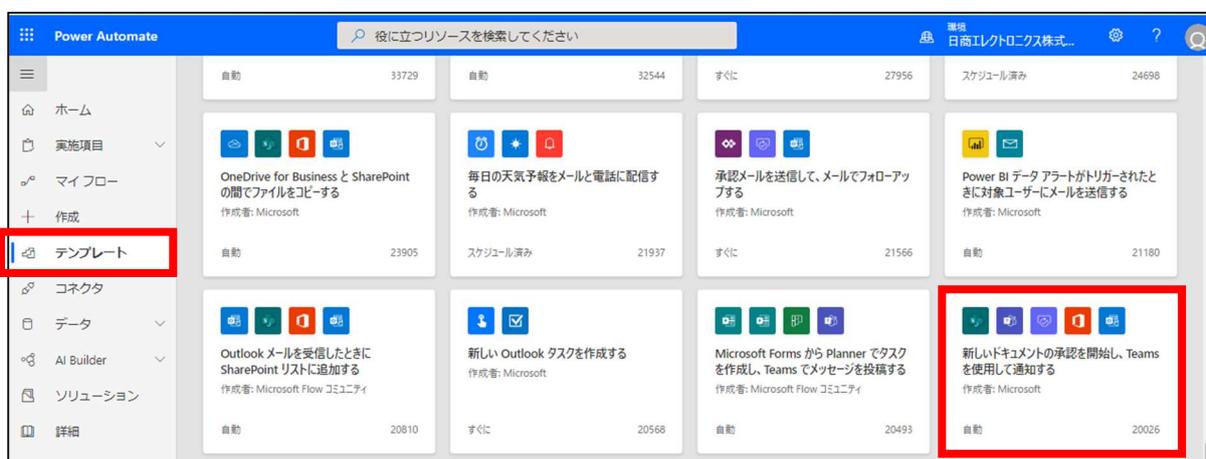


- Share Point Online の「承認前」フォルダに「見積書サンプル.xlsx」ファイルを格納します。

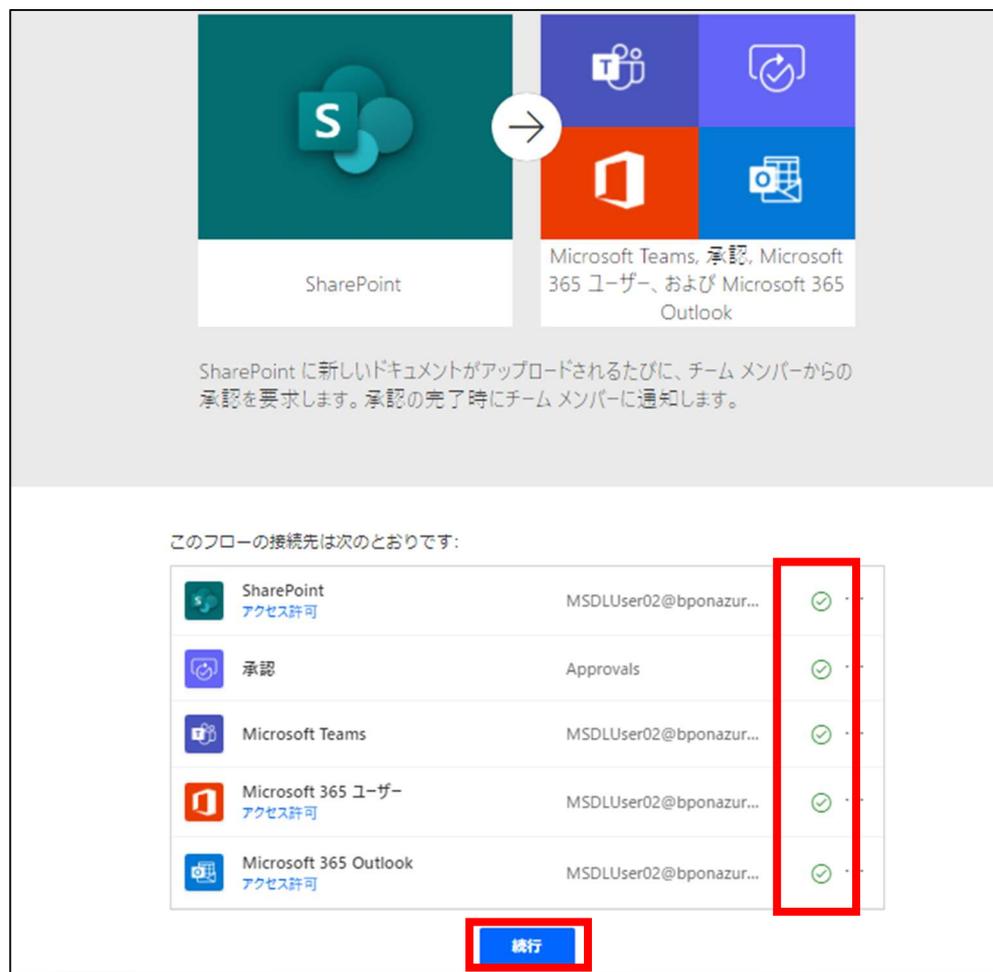


<手順>

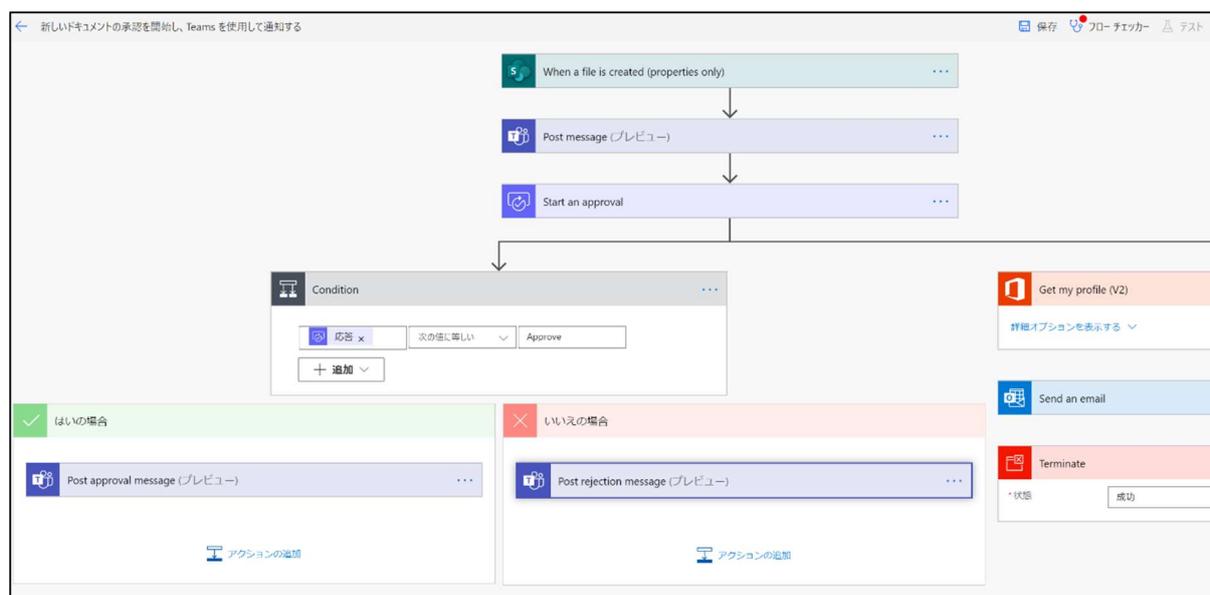
- Power Automate 画面で「テンプレート」をクリックし、「新しいドキュメントの承認を開始し、Teams を使用して通知する」テンプレートを選択 (検索) してクリックします。



2. 選択したテンプレートで利用しているアカウントでサインイン状態を確認し、「続行」をクリックします。下記赤枠が「+」と表示されている場合は、「+」をクリックして接続します。接続すると下記のレマークになります。



3. フローの編集画面が開きます。

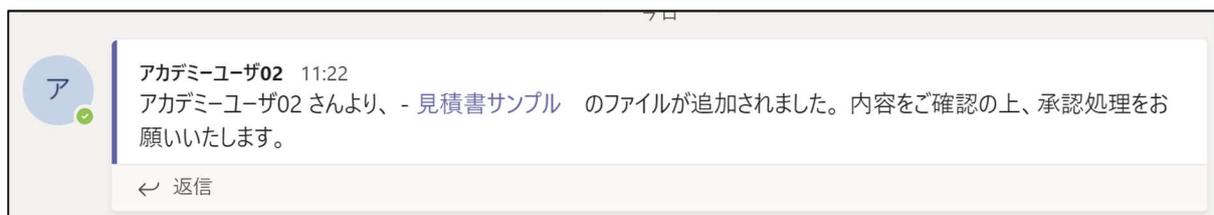


<処理実行>

1. SharePoint のドキュメント内「見積書」フォルダに、Excel ファイルを追加します。



2. Teams に通知が届きます。



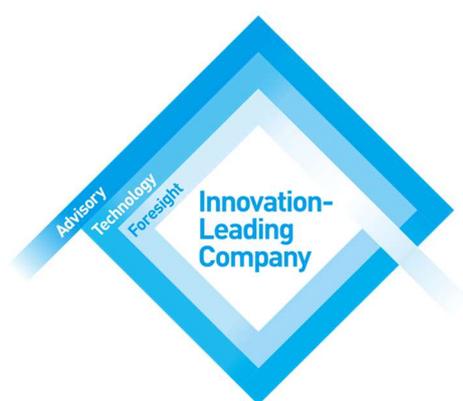
3. 承認者へメールで確認メールが届きます。「承認」選択後、「送信」をクリックします。

※メールアドレスがブロックされていると正しく表示されない場合があります。

まとめ

学習のまとめ

- Power Automateの概要を学習
- Power Automate クラウドフローを使用し、
業務を効率化する方法を学習
 - テンプレート
 - 自動化したクラウドフロー
 - インスタントクラウドフロー



お客様とともに 革新的な未来を創造

常に目指しているのは、お客様の描くビジネス・イノベーションを
現実にする事。

日商エレクトロニクスは、デジタル時代のイノベーションリーダー
として、お客様のビジネス成果に貢献する
B4B (Business For Business) に取り組んでいます。

日商エレクトロニクス株式会社
クラウドフロー編